

# 託されているもの

シリーズ～福音の力～

2020/11/08

## ルカによる福音書19章11～27節

人々がこれらのことに聞き入っているとき、イエスは更に一つのたとえを話された。エルサレムに近づいておられ、それに、人々が神の国はすぐにも現れるものと思っていたからである。

イエスは言われた。「ある立派な家柄の人が、王の位を受けて帰るために、遠い国へ旅立つことになった。そこで彼は、十人の僕を呼んで十ムナの金を渡し、『わたしが帰って来るまで、これで商売をきなさい』と言った。…さて、彼は王の位を受けて帰って来ると、金を渡しておいた僕を呼んで来させ、どれだけ利益を上げたかを知ろうとした。



最初の者が進み出て、『御主人様、あなたの一ムナで十ムナもうけました』と言った。主人は言った。『良い僕だ。よくやった。お前はごく小さな事に忠実だったから、十の町の支配権を授けよう。』二番目の者が来て、『御主人様、あなたの一ムナで五ムナ稼ぎました』と言った。主人は、『お前は五つの町を治めよ』と言った。また、ほかの者が来て言った。『御主人様、これがあなたの一ムナです。布に包んでしまっておきました。あなたは預けないものも取り立て、蒔かないものも刈り取られる厳しい方なので、恐ろしかったのです。』主人は言った。『悪い僕だ。その言葉のゆえにお前を裁こう。わたしが預けなかったものも取り立て、蒔かなかったものも刈り取る厳しい人間だと知っていたのか。』

ではなぜ、わたしの金を銀行に預けなかったのか。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きでそれを受け取れたのに。』そして、そばに立っていた人々に言った。『その一ムナをこの男から取り上げて、十ムナ持っている者に与えよ。』僕たちが、『御主人様、あの人は既に十ムナ持っています』と言うと、主人は言った。『言っておくが、だれでも持っている人は、更に与えられるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられる。



# 1ムナずつ預けて旅立った主人

- 「ある立派な家柄の人」が王位を受けるために旅立った
  - 帰ってきたらこの国を支配することになるという前提
  - ヘロデ大王の息子「アルケラオ」が王位を得るためにローマに赴いたという史実がある
- 10人の僕に1ムナずつ託した
  - 1ムナは100デナリオン＝約3ヶ月分の給与
  - 『わたしが帰って来るまで、これで商売をしなさい』
  - 僕たちの力量をはかるため？

## 結果報告

- 王として帰ってきた主人が僕たちに報告させる
- 最初の僕は10ムナもうけた
  - 『良い僕だ。よくやった。お前はごく小さな事に忠実だったから、十の町の支配権を授けよう。』
- 次の僕は5ムナもうけた
  - 『五つの町を治めよ』
- 3番目の僕は何もせず言い訳した
  - 『御主人様、これがあなたの一ムナです。布に包んでしまっておきました。あなたは預けないものも取り立て、蒔かないものも刈り取られる厳しい方なので、恐ろしかったのです。』

# 何もしなかった僕の処分

## ● 主人の叱責

- 『悪い僕だ。その言葉のゆえにお前を裁こう。……ではなぜ、わたしの金を銀行に預けなかったのか。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きでそれを受け取れたのに。』
- 『その一ムナをこの男から取り上げて、十ムナ持っている者に与えよ。』

## ● 不思議な言葉

- 『言っておくが、だれでも持っている人は、更に与えられるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられる。』



## 「タラントンのたとえ」との比較 (マタイ25章)

タラントン	ムナ
1タラントン=6000万円	1ムナ=100万円
力に応じて	全員に均等に
5・2・1タラントン	1ムナずつ
報酬は同じ	もうけた額による
地の中に隠した	布に包んでしまった
同じ言い訳 (主人が厳しいので失うのが恐かった)	
同じ処分 (一番多く持っている者に与える)	



# 「ムナのたとえ」の意味

- **王位を受けるために旅立つ主**
  - 王として再臨されるためこの世を離れるイエス様
- **均等に与えられるムナ**
  - イエス様が弟子たちに(私たちに)託された
  - 「タラントン」は賜物(才能・能力)＜それぞれ違う
  - 「ムナ」は全員に均等に託されているもの
    - ・ 命、時間、信仰、福音、恵み、愛、聖霊…
- **もうける(増やす)ために託されている**
  - 自分のものではない！
  - 神と人のために使う(与える)こと＞例：ザアカイ

## やがて来る精算の時

- 託されている「ムナ」を考えよう
  - 実はすべてのものは託されている！
- 上手に増やしているだろうか？
  - 有効に使えているだろうか？
  - 他の僕たちを見てみよう！
- 苦し紛れの言い訳はかえって悪い結果に
  - 何か（誰か）のせいにしない
  - イエス様はすべてお見通し！
- 小さな事の積み重ね
  - 『良い僕だ。よくやった。お前はごく小さな事に忠実だったから、十の町の支配権を授けよう。』